

平成30年度

年 報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆平成 30 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	9
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	9
VI 啓発広報事業	10
VII 刊行物の刊行事業	10
VIII その他の付帯事業	10
◆統計・資料	
I 平成 30 年度 展覧会別観覧状況	11
II 平成 30 年度 事業別利用状況	11
III 平成 30 年度 資料収集状況	12
◆組織及び職員	
I 組織機構図	13
II 職 員	13
◆その他	
I 文学館の歩み	14～15
II 諸会議・運営日誌	16～19
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	20

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。
- 3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。
- 4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	950円	1人に 790円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			85,080円
講堂	12,310円	14,200円	21,800円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,410円	1人に 1,220円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,320円	1人に 1,720円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,520円	1人に 2,730円 つき

■ 平成 30 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	752 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	4,655 点
	5,407 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲 覧	利用者 延 4,552 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (306 日間)	8,715	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約 1,350 点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 〈北海道命名 150 年〉 没後 50 年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢	4/20(金) ～ 6/24(日) (57 日間)	2,620	時代小説家・子母澤寛 (1892～1968 年)。北海道厚田村 (現石狩市) 生まれ。代表作に『国定忠治』などの遊侠・股旅もの、『新選組始末記』『勝海舟』などの幕末・維新もの、含味豊かな随筆『ふところ手帖』(「座頭市物語」収録)『愛猿記』などがある。祖父・梅谷十次郎は箱館戦争敗残の武士で、その回顧談が子母澤文学の源泉となった。本展ではその全業績を紹介し、異父弟で洋画家の三岸好太郎との関わりにもふれ、また「蝦夷物語」などの作品により薄明の北の大地で格闘した人々の事跡を追想した。
特別展 戦没画学生慰霊美術館 「無言館」展 一手ばなさなかつた絵筆、 いのちの軌跡—	7/ 7(土) ～ 9/ 9(日) (54 日間)	8,993	およそ 70 年前の太平洋戦争では、動員された多くの若者たちの中に、「立派な絵描きになりたい」と情熱を燃やす画学生らの姿もあった。彼らは「あと五分、あと十分」と出征直前まで絵筆を手ばなさず、「帰ってきたらまた絵を描く」と戦地へ赴いた。長野県の上田市にある「無言館」には、戦時中、志半ばで戦地に散った画学生の絵画等が多数収蔵されている。本展では、その中から、家族や身近な情景を描きとどめた絵画とともに、手記や手紙、愛用品を紹介した。
特別展 極の誘ひ 詩人吉田一穂展 —あゝ麗はしい距離、	9/22(土) ～ 11/18(日) (50 日間)	2,170	吉田一穂 (1898～1973 年、渡島管内木古内町出身) が生誕して 120 年。「海の詩人」「孤高の象徴詩人」「日本のマラルメ」と呼ばれ多くの芸術家らに畏敬された一穂は、少年時代を過ごした積丹半島の古平町を「白鳥古丹 (カムイコタン)」と呼んで詩的インスピレーションの源泉とした。本展では、詩集『海の聖母』『未来者』『白鳥』をはじめ一穂の詩業を、その書画とともに紹介し、東西文明への深い洞察力と鋭い批評性をたたえ、今なお近代史の極北に位置づけられる吉田一穂の世界を堪能いただいた。
ファミリー文学館 大本靖の版画でたどる 北海道四季の風景	12/ 1(土) ～ 1/20(日) (39 日間)	1,944	北海道の四季の風景を印象的な構図と深みのある色調の木版画で表現し続けた大本靖 (1926～2014 年)。その絵画を通じて北国の自然の表情を鑑賞いただきながら、この地の風物や人々の暮らしを描いた文学作品を紹介した。
特別展 北海道の俳句～どこから 来て、どこへ行くのか～	2/ 2(土) ～ 3/24(日) (44 日間)	1,623	江戸期より歴史の節目節目に道外各地から俳句文化が流入し、時代ごとに根づいてきた北海道の俳句文芸。それは全国的に見てきわめて特異な歴史を持っている。しかし、北海道の歴史とともに歩んできた民衆文芸・俳句の過去の記憶が、時の流れの中にしだいに薄れつつある。今回、文学館収蔵資料にもとづき、北海道俳句が「どこから来たのか」という視点で歴史を軸に整理をし、その上で俳句文芸の現況と明日の展望「どこへ行くのか」について考えた。

【常設展アーカイヴ】

- 第1期展示〔4月17日(火)～6月17日(日)〕
薯版画で描く北の情景
北見の薯版画家・香川軍男(1915～2002年)の作品を紹介。
- 第2期展示〔7月3日(火)～9月2日(日)〕
装丁で楽しむ北海道の文学
北海道ゆかりの作家の本の装丁に注目し、内容との相乗による魅力を紹介。
- 第3期展示〔9月19日(水)～11月11日(日)〕
ミステリーで旅する北海道 さっぽろ編
ミステリー作品の中に描かれている北海道の風景を紹介。
- 第4期展示〔11月22日(木)～1月13日(日)〕
2018年の主な受賞とトピックス
北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。
- 第5期展示〔1月29日(火)～3月17日(日)〕
北の手仕事あれこれII—北海道と民藝運動
北海道における民藝運動との関わりや影響について、関連の作家や手仕事を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー	4/20(金)		58		「子母澤寛展」関連事業
〃	記念講演会「蝦夷地から北海道のころ」 講師：合田一道（ノンフィクション作家）	4/21(土)	60	87	145.0%	〃
〃	ギャラリートツアー 講師：当館学芸員	4/22、5/4、5/6、5/10、 5/19、5/20、5/27、 6/2、6/3、6/10、6/16、 6/24(2回)全13回		154		〃
〃	講演会「子母澤寛から阿久悠まで」 講師：吉田悦志（明治大学国際日本学部教授・博士(学術)）	4/28(土)	60	81	135.0%	〃
〃	朗読会「朗読で楽しむ子母澤寛の世界」 朗読：穴水重雄（元NHKアナウンサー）	5/4(金)	60	79	131.7%	〃
〃	講演会「女たちの幕末・明治」 講師：蜂谷涼（作家）	5/6(日)	60	80	133.3%	〃
〃	朗読会「スイーツ付き朗読とギャラリートツアー」 朗読等：五島由、鈴木栄子、穴水重雄	5/9(水)、5/16(水)	20	21	105.0%	〃
〃	講演会「子母澤寛作品の系譜と厚田三部作」 講師：丹羽秀人（函館市中央図書館館長）	5/20(日)	50	93	186.0%	〃
〃	特別映画会「新・座頭市物語」	5/27(日)	30	30	100.0%	〃
〃	歌謡ショー「ご免なすって！さゆりの演歌旅」 歌：平山さゆり（歌手）	6/2(土)	80	95	118.8%	〃
〃	話芸50年 蝦夷落語「十八番（おほこ）の十八番」 講師：笑生十八番（落語家）	6/10(日)	80	87	108.8%	〃
〃	オープニングセレモニー	7/7(土)		20		「無言館展」関連事業

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	オープニング・ギャラリートーク 講師：当館学芸員	7/ 7(土)		32		「無言館展」関連事業
〃	オープニング記念講演会「[無言館]のこと」 講師：窪島誠一郎(無言館館主・作家)	7/ 7(土)	100	119	119.0%	〃
〃	ミニトーク 講師：当館学芸員	7/27、8/3、8/10、 8/17、8/24、8/31 全6回	80	92	115.0%	〃
〃	トークセッション「ほくらがドームになったわけ」 講師：スズキコージ(絵本作家)、アーサー・ピナード(詩人)	8/14(火)	90	93	103.3%	〃
〃	文化講演会「会えない人に、どこで出会えるか」 講師：アーサー・ピナード(詩人)	8/15(水)	90	93	103.3%	〃
〃	オープニングセレモニー	9/22(土)		20		「吉田一穂展」関連事業
〃	オープニング・ギャラリートーク 講師：高橋秀明	9/22(土)		20		〃
〃	ギャラリー・ツアー 講師：当館学芸員	9/23、10/20、11/3、 11/17、11/18 全5回		28		〃
〃	連続講座「吉田一穂を知る」 講師：平原一良、高橋秀明、山田航、三角みづ紀、野坂政司、大島龍、柴村紀代、谷暎子	10/ 5(金)、10/19(金)、 10/26(金)、11/16(金) 全4回	140	149	106.4%	〃
〃	文芸対談Ⅰ「戦争とモダニズムー吉田一穂を中心に」 講師：瀬尾育生(詩人)、矢野静明(画家)	10/ 8(月)	60	60	100.0%	〃
〃	文芸対談Ⅱ「吉田一穂をめぐって」 講師：吉増剛造(詩人)、酒井忠康(美術評論家、世田谷美術館館長)	10/21(日)	80	110	137.5%	〃
〃	詩の朗読会「一穂の遥かなる最弱音」 朗読：大島龍、加藤多一、木暮純、木田澄子ほか	11/ 4(日)	80	88	110.0%	〃
〃	よみきかせ会「はる・なつ・あき・ふゆ」 朗読：当館職員	12/2(日)、12/16(日)、 1/13(日)、1/20(日) 全4回		22		ファミリー文学館関連事業
〃	ワークショップ「ドリームキャッチャーをつくろう」 講師：当館職員	12/ 8(土)		9		〃
〃	音楽のしらべとともに「ギターのしらべ」 出演：高泉コウ(ギターリスト)	12/15(土)		68		〃
〃	ラウンジ朗読会「文学で語られた北海道の季節」 朗読：朗読を楽しむ会	1/10(木)		34		〃
〃	ワークショップ「リノカットで蔵書票をつくろう」 講師：関川敦子	1/12(土)		9		〃
〃	音楽のしらべとともに「歌声とともに」 出演：安達彩子(ヴォーカル)、日小田直美(ピアノ)	1/19(土)		92		〃
〃	オープニングセレモニー	2/ 2(土)		40		「北海道の俳句展」関連事業
〃	文芸講演会「人と俳句」 講師：辻協一(中北海道現代俳句協会顧問)	2/ 2(土)	60	69	115.0%	〃
〃	俳句展記念「大学生による公開歌会・句会」 講師：山田航(歌人)、五十嵐秀彦(中北海道現代俳句協会会長)ほか	2/24(日)	60	60	100.0%	〃
〃	講座「AIが俳句を作るまで」 講師：山下倫央(北海道大学大学院准教授)	3/ 9(土)	60	85	141.7%	〃
〃	座談会「北海道の俳句～どこへ行くのか～」	3/16(土)	60	69	115.0%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	8/1(水)～8/3(金)	30	18	60.0%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	募集7/1(日)～9/9(日) 展示12/1(土)～1/20(日)	3,100	4,805	155.0%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12/1(土)		77		
ファミリー文学館	キッズ・プログラム「ミニ工作」	12/1(土)～1/20(日)	400	157	39.3%	
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催	600	449	74.8%	
映画鑑賞会	「幕末太陽伝」	6/3(日)	60	72	120.0%	
映画鑑賞会	「座頭市」	6/24(日)	60	41	68.3%	
映画鑑賞会	「ビルマの豎琴」	7/15(日)	60	53	88.3%	
映画鑑賞会	「花の恋人たち」	11/18(日)	60	60	100.0%	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	18市町村19会場	1,500	1,316	87.7%	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	5市町村5会場	1,000	5,013	501.3%	
文字・活字文化の振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」 出演：〈パネリスト〉内田弘、大塚亜希、五十嵐秀彦、浪越靖政〈実作者〉短歌、俳句、川柳各2名	10/28(日)	70	51	72.9%	
古典の日記念朗読会	朗読：村井裕子(フリーアナウンサー)、手島慶子(マリンバ・パーカッション奏者)	11/2(金)	80	71	88.8%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループさ・く・らほか	年10回	600	548	91.3%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2018」 展示室の夜間開館等を実施	7/20(金)	320	350	109.4%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(306日間)	1,500	4,552	303.5%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(306日間)		1,225		
負担金事業計			10,900	21,204	194.5%	
※ 文学館カレッジ	俳句の世界、画像でたどる好短篇、絵本、生涯読書会、川柳講座の5講座	5～3月	500	545	109.0%	
※ 文学館カレッジ講演会	トークイベント「詩人吉増剛造の世界」 講師：吉増剛造(詩人)、高橋純(小樽商科大学名誉教授)ほか	5/15(火)	240	41	17.1%	
※ ロビーコンサート	「秋の夜の音楽会パートⅠ」 「秋の夜の音楽会パートⅡ」	11/2(金)、11/3(土)	120	91	75.8%	
※ 中島公園ぶんがく縁日2018	同人誌・図書等のフリーマーケット、講演会、朗読会など	9/16(日)、9/17(月)	50	304	608.0%	
※ ぶらり札幌文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	6/19(火)、9/4(火)、11/6(火) 全3回	30	34	113.3%	
※ 俳句記念事業	北海道文学館俳句賞作品を募集し、優秀作品を表彰 講演会「言葉で俳句をつくろう！」 講師：佐藤文香(俳人)	募集9/1(土)～11/30(金) 表彰式2/2(土) 講演会3/17(日)		456		
※ 文学館まつり	講演会、朗読会、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(日)	300	293	97.7%	
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	5/13～6/24、6/29～9/15、10/8～11/27、1/30～3/24 全4回	0	16,637		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(306日間)	100	140	140.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	908	151.3%	
自主企画事業計			1,940	19,449	1002.5%	
			12,840	40,653	316.6%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」展関連資料調査
- ② 特別展「戦没画学生慰霊美術館「無言館」展」関連資料調査
- ③ 特別展「極の誘ひ 詩人吉田一穂展—あゝ麗はしい距離、」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「大本靖の版画でたどる北海道四季の風景」展関連資料調査
- ⑤ 特別展「北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～」展関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「よみがえれ！とこしえの加清純子」展関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「歌川広重 ふたつの東海道五拾三次」展関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事」展関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「砂澤ビッキの詩と本棚」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① ロメウス弦楽四重奏団
第5回ロメウス弦楽四重奏団コンサート
(平成30年4月17日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
森の時間 SNOW HOKKAIDO×竹あかり
(平成30年5月26日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第25回中川町短歌フェスティバル
(平成30年6月1日～7月20日 中川町)
- ④ ギターグループ「セピア」
ギターグループ「セピア」第1回演奏会
(平成30年6月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 新緑のバロック実行委員会
新緑のバロック
(平成30年6月28日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
森の時間 SNOW HOKKAIDO×竹あかり
(平成30年7月29日 北海道立文学館地階ロビー 中止)
- ⑦ クピンスキー・ギターデュオリサイタル実行委員会
クピンスキー・ギターデュオリサイタル
(平成30年8月23日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ ハビエル・コントララスギターリサイタル実行委員会
ハビエル・コントララスギターリサイタル
(平成30年9月23日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑨ 日本弦楽器製作者協会ギター部門有志
FIESTA ギター銘器の工芸美と名曲の調べ
(平成30年9月29日～30日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑩ 北海道高等学校文化連盟第40回全道高等学校図書研究大会
北海道高等学校文化連盟
(平成30年10月4日～5日 北海道立文学館講堂ほか)
- ⑪ NHK文化センター朗読教室 松井信子クラス
北海道ゆかりの文学を読む 20周年記念朗読会その1
(平成30年10月14日 北海道立文学館講堂)
- ⑫ 山口流梅桃桜会札幌
山口千壽篠笛演奏会 Vol.10

- (平成 30 年 10 月 27 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑬ ロメウス弦楽四重奏団
第 6 回ロメウス弦楽四重奏団コンサート
(平成 30 年 11 月 9 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑭ 三浦浩
三浦浩ギターコンサート
(平成 30 年 11 月 17 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑮ 特定非営利活動法人絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター創立 30 周年記念 第 23 回文化セミナー
(平成 30 年 11 月 18 日 小樽市民会館)
- ⑯ 木暮浩史ギターリサイタル実行委員会
木暮浩史ギターリサイタル
(平成 30 年 11 月 22 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑰ 宮下祥子ギター教室
坪川真理子ギターリサイタル
(平成 30 年 12 月 1 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑱ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
バイリンガル朗読とハーブ～命名 150 年の冬に
(平成 30 年 12 月 8 日 札幌市文化芸術交流センター)
- ⑲ NHK 文化センター朗読教室 松井信子クラス
北海道ゆかりの文学を読む 20 周年記念朗読会その 2
(平成 30 年 12 月 9 日 道庁赤レンガ庁舎)
- ⑳ オーボエとクラシックギターの調べ実行委員会
オーボエとクラシックギターの調べ
(平成 31 年 3 月 2 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ㉑ トマシ&ムッソデュオリサイタル実行委員会
トマシ&ムッソデュオリサイタル
(平成 31 年 3 月 21 日 北海道立文学館地階ロビー)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、新聞紙上で有料広告のほか TV スポット CM を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 113 号(6 月 1 日付)、第 114 号(8 月 21 日付)、第 115 号(11 月 2 日付)、第 116 号(3 月 12 日付)を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」図録の刊行
- ② 創立 50 周年記念アンソロジー「北海道文学館から」刊行
- ③ 特別展「極の誘ひ 詩人吉田一穂—あゝ麗はしい距離、」図録の刊行
- ④ 特別展「大本靖の版画でたどる北海道四季の風景」図録の刊行
- ⑤ 特別展「北海道の俳句—どこから来て、どこへ行くのか」図録の刊行
- ⑥ 創立 50 周年記念北海道文学館俳句賞作品集「架橋」の刊行
- ⑦ 「平成 29 年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
博物館実習生—15 名(受入期間 5 月～3 月。実習期間 2 週間)

■ 統計・資料 ■

I 平成 30 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展		特 別 展				計		
	北海道の文学	子母澤寛展	無言館展	吉田一穂展	ファミリー文学館	北海道の俳句展			
開催日数	306	57	54	50	39	44			
有 料	個 人	一般	656	1,255	6,772	253	150	9,086	
		高大生	102	20	107	18	9	256	
		小中生		4	176			180	
	団 体	小 計	758	1,279	7,055	271	0	159	9,522
		一般	571	205	444	96		80	1,396
		高大生	100	40	41	13		28	222
		小中生							0
小 計	671	245	485	109	0	108	1,618		
免除・招待	7,286	1,096	1,453	1,790	1,944	1,356	14,925		
観覧者総数	8,715	2,620	8,993	2,170	1,944	1,623	26,065		

II 平成 30 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
負 担 金 事 業	展覧会事業	常設展	557	686	824	915	1,274	784	803	674	478	501	556	663	8,715	
		子母澤寛展	540	996	1,084											2,620
		無言館展				2,079	5,177	1,737								8,993
		吉田一穂展						307	1,037	826						2,170
		ファミリー文学館									966	978				1,944
		北海道の俳句展											764	859		1,623
		小 計	1,097	1,682	1,908	2,994	6,451	2,828	1,840	1,500	1,444	1,479	1,320	1,522		26,065
	教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	236	368	261	177	272	47	293	135	85	149	169	154		2,346
		文学道場					18									18
		小中高生短歌コンテスト						4,805				77				4,882
		ファミリー文学館										91	66			157
		映画鑑賞会（4回）			113	53					60					226
		地域連携事業 「文学館出前講座」		170		73		496	224	353						1,316
		地域連携事業 「ミニ巡回展」		354	323	1,368	2,147	100		721						5,013
		文字活字文化振興事業								51						51
		朗読会（古典の日）									71					71
		月例朗読会		61	62	65	43	51	61	42	54		50	59		548
		わくわくこどもランド		101	30	48	34	10	28	34	97	28	23	16		449
		カルチャーナイト 2018				350										350
		資料閲覧・共同研究	328	371	343	418	534	385	419	395	297	352	338	372		4,552
小 計	564	1,425	1,132	2,552	3,048	5,894	1,076	1,811	701	595	580	601		19,979		
愛好団体の文学活動	11	125	54	56	26	254	300	156	11	95	54	83		1,225		
計	575	1,550	1,186	2,608	3,074	6,148	1,376	1,967	712	690	634	684		21,204		
負担金事業計	1,672	3,232	3,094	5,602	9,525	8,976	3,216	3,467	2,156	2,169	1,954	2,206		47,269		
自主企画事業	教育普及事業	文学館カレッジ		22	70	72	78	80	83	56	28	28	28		545	
		文学館カレッジ講演会		41											41	
		ロビーコンサート								91					91	
		ぶんがく縁日						304							304	
		文学散歩			9			11		14					34	
		俳句記念事業								325		51	80		456	
		文学館まつり（9/22）						293							293	
		ロビー展示		828	1,627	2,539	4,471	1,562	1,537	1,539		40	1,159	1,335		16,637
		文学館探検クイズ	5	6	17	13	40	6	14	2	13	11	6	7		140
		公演（コンサート、朗読会）	70	20	135		83	152	58	148	70					908
		自主企画事業計	75	917	1,858	2,624	4,672	2,408	1,692	2,175	111	79	1,244	1,594		19,449
		ボランティア活動状況		7	2	5	12	11	27	3	3	3	15	6		94
その他（喫茶コーナー）	148	185	192	252	428	314	226	182	85	120	112	144		2,388		
合 計	1,895	4,341	5,146	8,483	14,637	11,709	5,161	5,827	2,355	2,371	3,325	3,950		69,200		

Ⅲ 平成 30 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	402	890	1,292
雑 誌 資 料	338	2,749	3,087
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	3	3
特 別 資 料	12	1,013	1,025
計	752	4,655	5,407

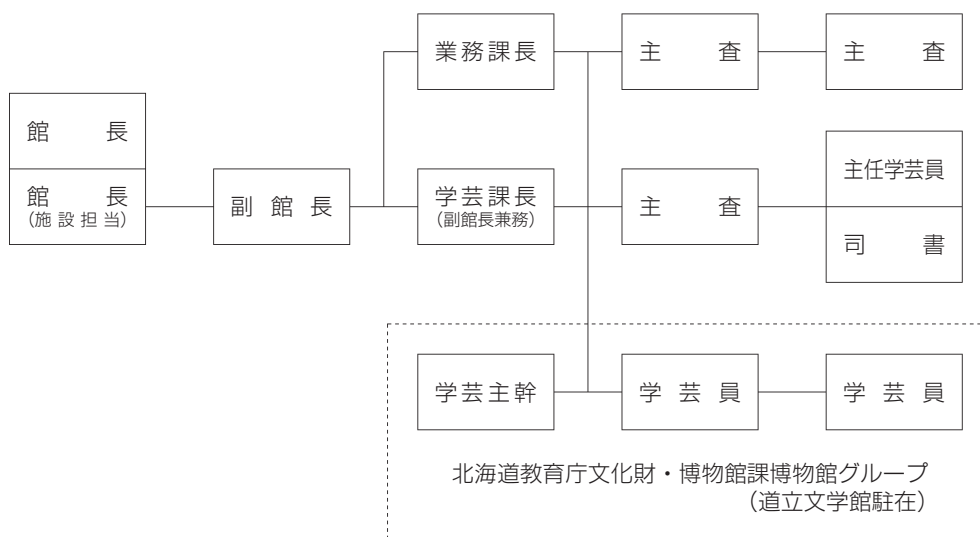
〈主な収集特別資料〉

素描画 久保栄肖像	1点購入
牧逸馬自筆草稿「山口君の場合」(400字詰15枚)	1点購入
長谷川四郎自筆草稿「七福神のたのしみ」(400字詰10枚)	1点購入
和田徹三肉筆詩集「門」	1点購入

公益財団法人北海道文学館への寄贈	13点受贈	
羽生輝原画「流れ行く」「庭で」など		
山田緑光筆短冊「火の中に生まれる花を耳かざり」		1点受贈
針山和美自筆原稿集「三年間」		3点受贈

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	工藤正廣	学芸課 主任学芸員	苫名直子
館長(施設担当)(財団副理事長)	酒向憲司	学芸課 司書	三井沙紀
副館長(財団専務理事)	野村六三	北海道教育庁文化財・博物館課 博物館グループ(道立文学館駐在)	
業務課長(財団常務理事)	高塚信之		
業務課 主査	丹羽則孝		
業務課 主査	佐々木孝夫	学芸主幹	平利弘
学芸課 主査	丹伊田範子	学芸員	吉成香織
		学芸員	寺地亜衣

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
43	文学に見る北方風物展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壱」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
44	北海道旅の文学展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念齋藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
46	北海道詩歌展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
47	目で見ると札幌文学散歩	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展		〔北海道立文学館〕
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観登・人と作品展	7	北海道立文学館管理運営業務開始（財団法人北海道文学館受託）
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展		北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち（澤田誠一理事長就任）
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行	11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——	12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展	13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展	14	特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド～きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂「ひとりの賑やかさ」～根室と霧と芸術家たち
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展、（和田謹吾理事長就任）		
62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展		
63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立		
平成元	胆振文学展・目で見ると風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家		

年次	事項	年次	事項
	～(神谷忠孝理事長就任)		
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展		原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録——書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、(公益財団法人北海道文学館に名称変更)
16	特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～	24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀		
	特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの——ジブリが読み解く“通俗文化の源流”——、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界——都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～	26	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル——後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館“うま”とあそぼう!!、特別展・小樽山博の文学——野性よ退化する現代を撃て——(工藤正廣理事長就任)
18	北海道立文学館指定管理者制度開始(財団法人北海道文学館指定)		
	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトボス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見弴と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～	27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界——『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代——大正イマジジュリィの世界——、特別展・没後50年文豪・谷崎潤一郎——愛と美を求めて、ファミリー文学館 ネコ!ねこ!猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌芸術雑誌にかけた夢
19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見!100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～	28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所(トボス)、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治——科学と折りのころ、ファミリー文学館・「ワン!ニャン!どっちも大好き」、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想
20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す—八木義徳	29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば——文学館・珠玉の300選、特別展・「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン島》2017——アントン・チェーホフの遺産、ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』
21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か [樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ	30	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 特別展・没後50年 子母澤寛 無頼三代蝦夷の夢、特別展・戦没画学生慰霊美術館「無言館」展、特別展・極の誘ひ 詩人吉田一穂展——あゝ麗はしい距離、ファミリー文学館「大本壺の版画でたどる北海道四季の風景」、特別展・北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～(平原一良理事長就任)
22	北海道立文学館指定管理者(財団法人北海道文学館指定)		
	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり!しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし		
23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉のみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の		

II 諸会議・運営日誌

平成 30 年

- 4月17日(火) 公演「第5回ロメウス弦楽四重奏団コンサート」
4月20日(金) 特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」オープン(～6月24日)
4月21日(土) 記念講演会「蝦夷地から北海道のころ ― 作家・子母澤寛のまなざし」(講師:合田一道)
4月22日(日) ギャラリーツアー
4月28日(土) 講演会「子母澤寛から阿久悠まで～大衆の心と時代を捉える超絶表現の魅力」(講師:吉田悦志)
5月4日(金) ギャラリーツアー
5月4日(金) 朗読で楽しむ子母澤寛の世界(朗読:穴水重雄)
5月5日(土) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」(出演:人形劇団ばびふ&てぶくろ))
5月5日(土) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのほりをつくろう!」)
5月6日(日) ギャラリーツアー
5月6日(日) 講演会「女たちの幕末・明治」(講師:蜂谷涼)
5月8日(火) 文学館出前講座「やさしい俳句入門」(小樽市、講師:瀬戸優理子)
5月8日(火) ミニ巡回展「ベストセラー作家渡辺淳一が描いた北海道」(～6月15日、陸別町)
5月9日(水) スイーツ付き 読書とギャラリーツアー(朗読:五島由、鈴木栄子)
5月10日(木) ギャラリーツアー
5月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ さ・く・ら)
5月13日(日) ロビー展示「時代小説 北海道ゆかりの作家たち」(～6月24日)
5月15日(火) 文学館カレッジトークイベント「詩人吉増剛造の世界」(講師:高橋純、工藤正廣、吉増剛造)
5月16日(水) スイーツ付き 読書とギャラリーツアー(朗読:五島由、鈴木栄子、穴水重雄)
5月19日(土) ギャラリーツアー
5月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師:工藤正廣」)
5月20日(日) ギャラリーツアー
5月20日(日) 講演会「子母澤寛作品の系譜と厚田三部作」(講師:丹羽秀人)
5月20日(日) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(上士幌町、講師:岸田典大)
5月24日(木) 文学館出前講座「芥川賞作家高橋揆一郎について」(歌志内市、講師:平原一良)
5月24日(木) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～6月29日、旭川市)
5月26日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師:岡崎守)
5月26日(土) 公演「森の時間 SNOW HOKKAIDO×竹あかり」
5月27日(日) ギャラリーツアー
5月27日(日) 子母澤寛と時代劇映画祭「新・座頭市物語」
6月2日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか)
6月2日(土) ギャラリーツアー
6月2日(土) 歌謡ショー「ご免なすって!さゆりの演歌旅」(出演:平山さゆり)
6月2日(土) 公演「ギターグループ「セピア」第1回演奏会」
6月3日(日) ギャラリー・ツアー
6月3日(日) 映画鑑賞会「幕末太陽伝」
6月7日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ 蔵)
6月10日(日) ギャラリー・ツアー
6月10日(日) 話芸50年無双蝦夷落語「十八番(おはこ)の十八番」(出演:笑生十八番)
6月16日(土) ギャラリーツアー
6月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師:工藤正廣」)
6月16日(土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師:久保田知恵子)
6月19日(火) ぶらり文学散歩「子母澤寛とすすきの・大通」
6月23日(土) 文学館カレッジ(愉しく学ぶ〈俳句の世界〉、講師:五十嵐秀彦)
6月23日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師:岡崎守)
6月24日(日) 映画鑑賞会「座頭市」
6月24日(日) ギャラリーツアー
6月27日(水) 文学館カレッジ(画像でたどる好短編～この小説家の意外な素顔、講師:平原一良)

- 6月28日(木) 公演「新緑のバロック」
- 6月29日(金) ロビー展示「戦争と文学」(～9月15日)
- 7月3日(火) 文学館出前講座「宮沢賢治の「グスコーブドリの伝記を読む」(札幌市、講師：安高誠吾)
- 7月7日(土) 特別展「戦没画学生慰霊美術館「無言館」展」オープン(～9月9日)
- 7月7日(土) オープニング・ギャラリートーク
- 7月7日(土) オープニング記念講演会「[無言館]のこと——戦没画学生が伝えるもの」(講師：窪島誠一郎)
- 7月10日(火) ミニ巡回展「後志文学の150年」(～8月30日、余市町)
- 7月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読を楽しむ会)
- 7月13日(金) 文学館出前講座「短歌創作ワークショップ」(津別町、講師：内田弘)
- 7月14日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか、出演：読み聞かせボランティア「赤ちゃん広場こぶたのぶーぶ」)
- 7月15日(日) 映画鑑賞会「ビルマの豎琴」
- 7月20日(金) カルチャーナイト2018(常設展・特別展夜間開館、古書バザール、朗読会など)
- 7月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
- 7月21日(土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師：杉浦篤子)
- 7月25日(水) 文学館カレッジ(画像でたどる好短編～この小説家の意外な素顔、講師：平原一良)
- 7月27日(金) ミニトーク
- 7月28日(土) 文学館カレッジ(愉しく学ぶ「俳句の世界」、講師：五十嵐秀彦)
- 7月28日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
- 7月29日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・サマーブックをつくろう！)
- 8月1日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師：小路幸也)(～3日)
- 8月3日(金) ミニトーク
- 8月4日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか、出演：読み聞かせボランティア)
- 8月7日(火) わくわくこどもランド(手作り教室・紙芝居をつくろう！)(～8日)
- 8月9日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読表現ゆうの会)
- 8月10日(金) ミニトーク
- 8月14日(火) トークセッション「ぼくらがドームになったわけ」(講師：ズスキコージ、アーサー・ピナード)
- 8月15日(水) 文化講演会「会えない人に、どこで出会えるか」(講師：アーサー・ピナード)
- 8月17日(金) ミニトーク
- 8月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
- 8月18日(土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師：横田由紀子)
- 8月22日(水) 文学館カレッジ(画像でたどる好短編～この小説家の意外な素顔、講師：平原一良)
- 8月23日(木) 公演「クピンスキー・ギターデュオリサイタル」
- 8月24日(金) ミニトーク
- 8月25日(土) 文学館カレッジ(愉しく学ぶ「俳句の世界」、講師：五十嵐秀彦)
- 8月25日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
- 8月31日(金) ミニトーク
- 9月1日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 9月4日(火) ぶらり文学散歩「大通公園 文学碑と彫刻と」
- 9月6日(木) 北海道胆振東部地震のため臨時休館(～7日)
- 9月11日(火) 文学館出前講座「朗読とカンテレ演奏」(遠別町、講師：村井裕子、あらひろこ)
- 9月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 9月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
- 9月15日(土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師：柴村紀代)
- 9月16日(日) 中島公園ぶながく縁日2018(フリーマーケット、大人向け手作りコーナー)(～17日))
- 9月16日(日) 中島公園ぶながく縁日2018(文化講演会「北海道の会津人列伝」講師：好川之範)
- 9月17日(月) 中島公園ぶながく縁日2018(朗読会「紫式部が『源氏物語』を朗読したら?」朗読：宮下郁子)
- 9月19日(水) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～9月30日、ニセコ町)

- 9月21日(金) 文学館出前講座「怪談話の世界」(伊達市、講師：新明英仁)
- 9月22日(土) 特別展「極の誘ひ 詩人吉田一穂展 ― あゝ麗はしい距離、」オープン(～11月18日)
- 9月22日(土) オープニング・ギャリートーク
- 9月22日(土) 文学館カレッジ(愉しく学ぶく俳句の世界)、講師：五十嵐秀彦)
- 9月22日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
- 9月22日(土) 文学館出前講座「永井荷風を読む」(旭川市、講師：中澤千磨夫)
- 9月22日(土) 文学館出前講座「宮沢賢治の短編小説を読む」(室蘭市、講師：安高誠吾)
- 9月23日(日) ギャラリー・ツアー
- 9月23日(日) 文学館まつり(常設展の無料開放、講演会、読み聞かせ、一日限りの資料公開、文庫本古書バザール、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど)
- 9月23日(日) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(利尻町、講師：クレヨンカンパニー)
- 9月23日(日) 公演「ハビエル・コントラス ギターリサイタル」
- 9月26日(水) 文学館カレッジ(画像でたどる好短編～この小説家の意外な素顔、講師：平原一良)
- 9月29日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(岩内町、講師：岸田典大)
- 9月29日(土) 公演「FIESTA ギター銘器の工芸美と名曲のしらべ」(～30日)
- 10月5日(金) 連続講座「吉田一穂を知る①一穂の詩のふるさと古平・木古内」(講師：平原一良、高橋秀明)
- 10月6日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか、出演：札幌静修高等学校読み聞かせボランティア)
- 10月8日(月) 文芸対談Ⅰ「戦争とモダニズム ― 吉田一穂を中心に」(講師：瀬尾育生、矢野静明)
- 10月8日(月) ロビー展示「北海道の文学碑」(～11月27日)
- 10月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読糸の会)
- 10月12日(金) 企画検討委員会
- 10月16日(火) 文学館出前講座「北海道の美術と文学が交わるころ」(壮瞥町、講師：苫名直子)
- 10月19日(金) 連続講座「吉田一穂を知る②若手詩人は吉田一穂をどう読むか」(講師：山田航、三角みづ紀ほか)
- 10月20日(土) ギャラリー・ツアー
- 10月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
- 10月20日(土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師：高橋晶子)
- 10月20日(土) 文学館出前講座「朗読とギター演奏と朗読講座」(厚岸町、講師：田村英一、佐藤洋一)
- 10月21日(日) 文芸対談Ⅱ「吉田一穂をめぐって」(講師：吉増剛造、酒井忠康)
- 10月24日(水) 文学館カレッジ(画像でたどる好短編～この小説家の意外な素顔、講師：平原一良)
- 10月26日(金) 連続講座「吉田一穂を知る③吉田一穂の宇宙観」(講師：野坂政司、大島龍ほか)
- 10月27日(土) 文学館カレッジ(愉しく学ぶく俳句の世界)、講師：五十嵐秀彦)
- 10月27日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
- 10月27日(土) 公演「山口千壽篠笛演奏会 Vol.10」
- 10月28日(日) 文字・活字文化の日関連事業「北海道文学館公開歌会・句会」
- 10月31日(水) 文学館出前講座「愉快地楽しく川柳入門」(釧路市、講師：岡崎守、斉藤征義)
- 11月2日(金) 古典の日記念朗読会(出演：村井裕子、手島慶子)
- 11月2日(金) ロビーコンサート「秋の夜の音楽会パートⅠ」(出演：上坂美穂子、長尾直美、Joli Moyon)
- 11月3日(土) ギャラリー・ツアー
- 11月3日(土) わくわくこどもランド(親子で楽しむ絵本とコンサート、出演：明楽みゆき、富岡雅美、藤田淳子、蠣崎路子)
- 11月3日(土) ロビーコンサート「秋の夜の音楽会パートⅡ」(出演：ファゴットだらけ)
- 11月4日(日) 詩の朗読会「一穂への遥かなる最弱音」(講師：大島龍、加藤多一、木暮純ほか)
- 11月6日(火) ぶらり文学散歩「札幌停車場から大通界限」
- 11月7日(水) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ さ・く・ら)
- 11月9日(金) 文学館出前講座「人形劇と腹話術」(函館市、講師：人形劇団ブランコ)
- 11月9日(金) 文学館出前講座「やさしい川柳入門」(札幌市、講師：瀬戸優理子)
- 11月9日(金) 公演「第6回ロメウス弦楽四重奏団コンサート」
- 11月10日(土) 文学館出前講座「三浦綾子の文学世界」(苫小牧市、講師：田中綾)
- 11月10日(土) 文学館出前講座「高倉健、小津安二郎監督作品を中心に日本映画やローマの休日」(浦河町、講師：中澤千磨夫)

- 11月11日 (日) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(奥尻町、講師：岸田典大)
 11月13日 (火) ミニ巡回展「ベストセラー作家渡辺淳一が描いた世界」(～29日、池田町)
 11月14日 (水) 企画検討委員会
 11月16日 (金) 連続講座「吉田一穂を知る④吉田一穂の児童文学」(講師：柴村紀代、谷暎子)
 11月17日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
 11月17日 (土) 文学館カレッジ(21世紀の子どもたちに…60年代～2017年の絵本から、講師：清水貴子)
 11月17日 (土) ギャラリー・ツアー
 11月17日 (土) 公演「三浦浩ギターコンサート」
 11月18日 (日) ギャラリー・ツアー
 11月18日 (日) 映画鑑賞会「花の恋人たち」
 11月21日 (水) 収集資料選定評価専門委員会
 11月22日 (木) 公演「木暮浩史ギターリサイタル」
 11月24日 (土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
 12月1日 (土) ファミリー文学館「大本靖の版画でたどる北海道四季の風景」オープン(～1月20日)
 12月1日 (土) キッズ・プログラム(～1月20日)
 12月1日 (土) 第13回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式
 12月1日 (土) 公演「坪川真理子ギターリサイタル」
 12月2日 (日) よみきかせ会「はる・なつ・あき・ふゆ」
 12月8日 (土) ワークショップ「ドリームキャッチャーをつくろう」
 12月9日 (日) わくわくこどもランド(手作り教室・ツリーをつくろう！)
 12月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読表現ゆうの会)
 12月15日 (土) 音楽のしらべとともに「ギターのしらべ」(出演：高泉コウ)
 12月15日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
 12月16日 (日) わくわくこどもランド(手作り教室・すごろくをつくろう！)
 12月16日 (日) よみきかせ会「はる・なつ・あき・ふゆ」
 12月22日 (土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
 12月23日 (日) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)
- 平成31年
- 1月10日 (木) ラウンジ朗読会「文学で語られた北海道の季節」(朗読：朗読を楽しむ会)
 1月12日 (土) ワークショップ「リノカットで蔵書票をつくろう」(講師：関川敦子)
 1月13日 (日) わくわくこどもランド(手作り教室・カルタをつくろう！)
 1月13日 (日) よみきかせ会「はる・なつ・あき・ふゆ」
 1月19日 (土) 音楽のしらべとともに「歌声とともに」(出演：安達彩子、日小田直美)
 1月19日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
 1月20日 (日) よみきかせ会「はる・なつ・あき・ふゆ」
 1月26日 (土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
 1月30日 (水) ロビー展示「文学にみる北海道の冬景色」(～3月24日)
 2月2日 (土) 特別展「北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～」オープン(～3月24日)
 2月2日 (土) 北海道文学館俳句賞授賞式
 2月2日 (土) 文芸講演会「人と俳句」(講師：辻協系一)
 2月9日 (土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか、出演：札幌静修高等学校読み聞かせボランティア)
 2月14日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)
 2月16日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会「東北文学の名作を読む、講師：工藤正廣)
 2月16日 (土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅶ、講師：岡崎守)
 2月24日 (日) 俳句展記念「大学生による公開歌会・句会」(講師：山田航、五十嵐秀彦、岐阜亮司ほか)
 3月2日 (土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)
 3月2日 (土) 公演「オーボエとクラシックギターの調べ」
 3月9日 (土) 講演「AIが俳句をつくるまで」(講師：山下倫央)
 3月9日 (土) 句会ライブ「AI vs 俳人◆どっちの俳句がどっちなの？」(講師：五十嵐秀彦ほか)
 3月14日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：声の贈り物～月夜見の会)
 3月16日 (土) 座談会「北海道の俳句～どこへ行くのか～」(講師：安田豆作、瀬戸優理子、鈴木牛後、松王かをり、五十嵐秀彦)
 3月17日 (日) 佐藤文香の俳句サーカス「言葉で俳句をつくろう」(講師：佐藤文香)
 3月21日 (木) 公演「トシマ&ムツ・ギターデュオリサイタル」

III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

顧問	池澤 夏樹 李 恢成	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒卷 義雄 <7名>
参与	加藤 多一 永井 浩 谷 暎子 本田 優子	木村真佐幸 原子 修 出村 文理	小杉 捷七 村田 俊秋 野坂 幸弘	佐々木 讓 八子 政信 源 進	高畠 二郎 吉田 秋陽 内田 弘	藤堂志津子 辻脇 系一 岡崎 守 <19名>

役職員

理事長 1	平 原 一 良	監 事 1	中 村 孝 一	評 議 員 1	阿知良 光 治
副理事長 2	柴 村 一 紀	// 2	森 一 生	// 2	石 本 裕 之
// 3	酒 向 憲 司			// 3	飯 塚 優 子
専務理事 4	野 村 六 三			// 4	植 松 美 由 紀
常務理事 5	高 塚 信 之			// 5	岡 美 紗 緒
理 事 6	五十嵐 秀 彦			// 6	岸 美 千 代
// 7	片 山 晴 夫			// 7	熊 谷 ユリヤ
// 8	國 松 明 日 香			// 8	佐 藤 将 寛
// 9	澤 田 展 人			// 9	佐 藤 芳 行
// 10	瀬 戸 正 昭			// 10	田 口 耕 平
// 11	高 橋 秀 明			// 11	田 中 綾 一
// 12	立 花 峰 夫			// 12	田 村 英 一
// 13	谷 口 孝 男			// 13	田 湯 岬 恵
// 14	中 澤 千 磨 夫			// 14	寺 田 文 寛
// 15	前 川 公 美 夫			// 15	中 館 村 三 征
// 16	三 浦 幸 司			// 16	中 橋 本 尚
// 17	安 高 誠 吾			// 17	橋 本 浅 野
// 18	和 田 由 美			// 18	日 平 嶋 東
				// 19	松 野 美 洋
				// 20	若 宮 明 彦
				// 21	

収集資料選定委員会

副理事長	柴 村 紀 代
参与	辻 脇 文 一
参与	出 村 文 理
参評議員	中 館 寛 隆
理事	三 浦 幸 司
理事	安 高 誠 吾

企画検討委員会

理事長	平 原 一 良
副理事長	柴 村 一 紀
副理事	酒 向 憲 司
理事	谷 口 孝 男
理事	五十嵐 秀 彦
理事	瀬 戸 正 昭
理事	高 橋 秀 明
理事	中 澤 千 磨 夫
理事	野 村 六 三
理事	安 高 誠 吾
評議員	飯 塚 優 子

平成30年度年報（令和2年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266